



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798 (43) 1065
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	81,876	5.6	3,690	94.9	3,791	132.5	2,558	117.4
2021年2月期第1四半期	77,531	△10.1	1,894	△23.3	1,630	△35.5	1,177	△20.6

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 3,431百万円(93.2%) 2021年2月期第1四半期 1,775百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	80.95	—
2021年2月期第1四半期	37.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	173,658	96,850	52.0
2021年2月期	172,394	94,507	51.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 90,300百万円 2021年2月期 87,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	3.8	12,700	0.7	13,000	0.1	8,000	△19.7	253.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	32,267,721株	2021年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	658,817株	2021年2月期	658,707株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	31,608,919株	2021年2月期1Q	31,669,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大と行動規制措置による感染収束が交互に起こる極めて不安定な状況の中、規制を受け不振にあえぐ地域や業態と比較的影響を受けない地域・業態とで二極化の様相を呈しております。当食肉業界においては、緊急事態宣言等により営業活動で制限を受けた観光業や外食産業では困難な状況に苦しみましたが、中食・小売業態においては比較的堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業継続および雇用の安定に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需要と供給や、業種ごとの販売構成のバランスが不均衡になる中で、安定的に事業を継続することを主眼に諸施策を行いました。仕入、生産、販売の各職場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、業務の遂行に支障が発生しない環境の整備を徹底しました。また、製品事業においては、コロナ禍による生活様式の変化に伴う新たな需要に対応するため、「おうち外食」をコンセプトに家庭向け製品開発と拡販に取り組みました。

食肉等の小売部門においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、緊急事態宣言等により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響がやや緩和され消費マインドが上向いたことにより、売上高818億7千6百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益36億9千万円（前年同四半期比94.9%増）、経常利益37億9千1百万円（前年同四半期比132.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億5千8百万円（前年同四半期比117.4%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は749億2千8百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は36億7百万円（前年同四半期比123.0%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は55億8千8百万円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益は4億1千2百万円（前年同四半期比28.8%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は9億7千9百万円（前年同四半期比46.3%減）、セグメント損失は1億4百万円（前第1四半期連結累計期間2千1百万円の利益）となりました。

④その他

売上高は3億7千9百万円（前年同四半期比19.1%増）、セグメント利益は1千8百万円（前第1四半期連結累計期間5千万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12億6千4百万円増加し、1,736億5千8百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加と現金及び預金の減少及び売上高減少に伴う売上債権の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて10億7千9百万円減少し、768億8百万円となりました。これは主に、法人税、住民税及び事業税の支払いに伴う未払法人税等の減少と仕入高の増加に伴う仕入債務の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて23億4千3百万円増加し、968億5千万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,284	37,419
受取手形及び売掛金	32,754	31,316
商品及び製品	20,286	24,224
仕掛品	1,630	1,664
原材料及び貯蔵品	3,965	3,984
その他	3,550	4,212
貸倒引当金	△61	△60
流動資産合計	102,409	102,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,371	56,091
減価償却累計額	△25,795	△26,607
建物及び構築物（純額）	29,575	29,484
土地	15,152	15,241
その他	34,501	35,364
減価償却累計額	△23,676	△24,418
その他（純額）	10,825	10,945
減損損失累計額	△3,162	△3,238
有形固定資産合計	52,391	52,432
無形固定資産		
のれん	100	389
その他	537	566
無形固定資産合計	637	956
投資その他の資産		
投資有価証券	13,220	13,482
退職給付に係る資産	118	124
その他	3,823	4,102
貸倒引当金	△206	△200
投資その他の資産合計	16,955	17,509
固定資産合計	69,984	70,897
資産合計	172,394	173,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,032	26,929
短期借入金	7,825	8,688
未払法人税等	3,578	1,202
賞与引当金	1,023	1,480
その他	12,107	10,460
流動負債合計	48,568	48,760
固定負債		
社債	550	500
長期借入金	24,052	22,932
役員退職慰労引当金	220	159
退職給付に係る負債	1,928	1,927
その他	2,568	2,528
固定負債合計	29,319	28,047
負債合計	77,887	76,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,723	18,723
利益剰余金	62,805	64,352
自己株式	△414	△414
株主資本合計	85,412	86,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,826	3,001
繰延ヘッジ損益	△3	34
為替換算調整勘定	△281	289
退職給付に係る調整累計額	15	14
その他の包括利益累計額合計	2,557	3,340
非支配株主持分	6,536	6,550
純資産合計	94,507	96,850
負債純資産合計	172,394	173,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	77,531	81,876
売上原価	66,002	68,843
売上総利益	11,529	13,032
販売費及び一般管理費	9,634	9,341
営業利益	1,894	3,690
営業外収益		
受取利息	18	4
受取配当金	4	7
受取家賃	36	33
持分法による投資利益	7	0
その他	115	156
営業外収益合計	183	201
営業外費用		
支払利息	68	66
アレンジメントフィー	106	—
為替差損	208	—
賃貸原価	26	11
その他	37	22
営業外費用合計	446	101
経常利益	1,630	3,791
特別利益		
固定資産売却益	695	0
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	184	150
受取補償金	3	1
特別利益合計	883	152
特別損失		
固定資産処分損	13	6
減損損失	8	0
店舗閉鎖損失	10	0
店舗休止等損失	5	98
固定資産圧縮損	181	—
特別損失合計	219	106
税金等調整前四半期純利益	2,294	3,837
法人税等	931	1,189
四半期純利益	1,362	2,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	185	89
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,177	2,558

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	1,362	2,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	469	174
繰延ヘッジ損益	3	37
為替換算調整勘定	△56	568
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	3
その他の包括利益合計	413	782
四半期包括利益	1,775	3,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,582	3,341
非支配株主に係る四半期包括利益	193	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	69,551	5,835	1,824	77,212	318	77,531	-	77,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,931	53	61	2,046	101	2,148	△2,148	-
計	71,483	5,888	1,886	79,258	420	79,679	△2,148	77,531
セグメント利益 又は損失(△)	1,617	579	21	2,219	△50	2,168	△274	1,894

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△274百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,928	5,588	979	81,496	379	81,876	-	81,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,932	1	122	2,056	153	2,210	△2,210	-
計	76,861	5,589	1,101	83,553	533	84,086	△2,210	81,876
セグメント利益 又は損失(△)	3,607	412	△104	3,916	18	3,934	△244	3,690

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△244百万円には、セグメント間取引消去94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。